

会 議 録

会 議 名	平成２９年度第２回野田市水道事業運営審議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	１ 会長及び副会長選出について（公開） ２ 野田市水道事業財政計画について（公開） ３ 平成３０年度野田市水道事業会計予算原案概要について（公開）
日 時	平成３０年２月９日（金） 午後１時３０分から午後２時３０分まで
場 所	野田市水道部２階 大会議室
出席委員氏名	会 長 谷田貝多吉 副会長 永田和子 委 員 五百川和家恵、小川知子、國嶋紀孝、坂本泰啓、 澤田好子、澤田美治、中村文江、根本嘉生
欠席委員氏名	委 員 織原たか代、金澤裕勝、野口茂、横川しげ子
事 務 局	齊藤弘美 水道事業管理者 中村徳夫 次長（兼）業務課長 荘司晃章 工務課長 飯塚一雄 工務課主幹（兼）工務課長補佐（兼）浄水係長 赤石俊介 業務課長補佐（兼）財務係長 須賀田実 工務課長補佐（兼）給水係長 渡邊豪男 業務課庶務係長 西澤 央 業務課業務係長 木塚幸雄 工務課工務係長 川瀬秀和 工務課主査 岡田一裕 工務課主査 木村 淳 工務課主査 張替隆彰 業務課主任主事 岡野正和 業務課主任主事 中田祐子 業務課主任主事
傍 聴 者	無し
議 事	平成２９年度第２回野田市水道事業運営審議会の会議結果（概要）は次のとおりである。

司会 岡野正和 水道事業管理者 齊藤弘美	定刻どおり、午後１時３０分開会 ＜挨拶＞
司会 岡野正和	野田市水道事業運営審議会設置に関する条例により委員の任期は２年間と規定されている。平成３０年１月３１日をもって任期が満了となったことから、２月１日付けで次の方に委員を委嘱をした。 委員紹介（五十音順） ・受益者代表 五百川和家恵委員 ・公募 小川友子委員 ・学識経験者 國嶋紀孝委員 ・関係行政機関 坂本泰啓委員 ・受益者代表 澤田好子委員 ・受益者代表 澤田美治委員 ・受益者代表 永田和子委員 ・受益者代表 中村文江委員 ・関係行政機関 根本嘉生委員 ・学識経験者 谷田貝多吉委員 会議の成立（委員１４人中１０人の出席）、傍聴者の申出がないこと及び会議録作成のため録音することを報告 会議の公開について説明 会長不在のため水道事業管理者が仮議長となり議事進行 議題１ 会長及び副会長の選出について
水道事業管理者 齊藤弘美 委 員	議題１ 会長及び副会長の選出について、会長の選出方法を伺う。 ＜「指名推薦」との声有り＞

水道事業管理者 齊藤弘美	会長の選出方法（指名推薦）について諮る 【異議無しのため、指名推薦により選出】
委員 永田和子	谷田貝委員を推薦
水道事業管理者 齊藤弘美	谷田貝委員を会長とすることについて諮る 【異議無しのため、谷田貝委員を会長に選出】
	<会長が決定したため議長交替>
会長 谷田貝多吉	<挨拶> 副会長の選出方法を伺う。
委 員	<「指名推薦」との声有り>
会長 谷田貝多吉	副会長の選出方法（指名推薦）について諮る 【異議無しのため、指名推薦により選出】
委員 中村文江	永田委員を推薦
会長 谷田貝多吉	永田委員を副会長とすることについて諮る 【異議無しのため、永田委員を副会長に選出】
副会長 永田和子	<挨拶>
会長 谷田貝多吉	本日の会議録の議事録署名人として、澤田好子委員及び澤田美治委員を指名
	議題 2 野田市水道事業財政計画について
会長 谷田貝多吉	議題 2 野田市水道事業財政計画について説明を求める。

次長 中村徳夫	<野田市水道事業財政計画（平成３０年度～平成３２年度）に基づき説明> 財政計画は、水道事業の健全な運営を確保し、安定的な経営の持続を堅持することを基本に策定したもので、平成３０年度から平成３２年度を計画期間とした具体的な計画であり、水道事業運営の指針となるものである。 この財政計画の策定に当たっては、「経費削減や事業効果の点検・改善」を行い、「陳腐化したもの、非効率事業等」の排除や事業手法の再検討などにより効率化を図り、現行料金を維持することを前提として、真に実効性のある計画としたものである。 各年度の純利益は、資本金に組み入れるべき減価償却見合い分の長期前受金戻入が１億７千万円前後含まれていることから、当該戻入を除いた利益は、１億５千万円以上を確保している。 このことから、財政計画期間である３か年の各年度ともに黒字を確保した計画としている。 施設・設備・管路等については、キッコーマン(株)から引き継いだ鋳鉄管の更新を平成３１年度までに完了させるとともに、各施設や設備の更新を計画的に行い、配水管布設・布設替工事、施設設備更新工事は年間約１０億円を投資する。この結果、毎年約１２億円から１５億円の不足額が生じるが、損益勘定留保資金や減債積立金等により補てんすることとしている。
会長 谷田貝多吉	議題２ 野田市水道事業財政計画について、質問・意見等を伺う。
委員 根本嘉生	減価償却費は、現金の支出を伴わないものか。
水道事業管理者 齊藤弘美	お見込のとおり、現金の支出は伴わないものである。 減価償却費は資産の耐用年数に応じ費用を計上し、損益勘定留保資金として内部に留保するものである。

委員 國嶋紀孝	平成３１年度と平成３２年度を比較し、配水管布設・布設替工事費が、急激に減少した理由を伺う。
工務課長 荘司晃章	キッコーマン(株)から引き継いだ鑄鉄管の更新が平成３１年度に完了することから、平成３２年度の工事費が減少したもの。
会長 谷田貝多吉	ほかに質問・意見等がないことから、「議題２ 野田市水道事業財政計画について」原案のとおり了承。
	議題３ 平成３０年度野田市水道事業会計予算概要
会長 谷田貝多吉	議題３ 平成３０年度野田市水道事業会計予算概要について説明を求める。
次長 中村徳夫	<平成３０年度野田市水道事業会計予算原案説明資料に基づき説明> 独立採算制の立場に立ち、前例に捉われることなく、企業経営の効率化の推進と収益向上のための策に積極的に取り組み、財政計画をベースに業務の状況等を十分に把握した上で経営環境の変化を最大限に加味した予算原案としている。 具体的には、老朽化した設備や配水管の更新事業を進めるとともに、給水希望者の要望による未整備地区の解消を最優先として事業を進めていく。また、業務の改善を図り、経常経費の削減に努め、収益確保策も強化することとしている。 配水管の布設替としては、キッコーマン(株)関連の老朽管及び漏水が多発地区で予定しており、このほか要望による工事などを見込み、総延長４，４１５メートルの実施を予定している。 施設関係では、経年劣化によるポンプ・電気・ろ過設備等の更新工事の実施を予定している。 拡張事業としては、未整備地区の解消及び給水希望者への

会長 谷田貝多吉	待機期間の短縮を図り、平成２９年１１月末までに要望のあった給水希望者すべてを対象とした工事１，９０５メートルの実施を予定している。 業務の予定量では、給水件数は５万９，３７６件を見込み、前年度当初予算比１，０１８件増、年間総給水量は１，４６７万５，４６１立方メートルと見込み、前年比１１万９，５３９立方メートルの減、年間総有収水量は、１，４０５万３，９０７立方メートルと見込み、前年比７万５，３１８立方メートルの減、一日平均給水量は、４万２０７立方メートルとなり、前年比３２７立方メートルの減、有収率は９５．８％を見込み、前年比０．３ポイント増となる。 収益的収入は、３４億２，７０４万２，０００円を見込み、前年度当初予算に比べて３，３８４万７，０００円の減になる。 収益的支出は、２９億９，９４２万９，０００円で前年度比９１３万４，０００円の増となる。 その結果、収支差引は、税込み４億３，２８１万３，０００円となるが、資本金に組み入れるべき減価償却見合い分の長期前受金戻入等を除き、１億７，４９９万４，０００円の純利益を見込んでいる。 資本的収入は、１，０２６万円で、前年度に比べて１，６８３万円の減となる。 資本的支出は、１５億４，９３３万４，０００円で、前年比１億５３７万３，０００円の減となる。 これにより、資本的収支差引は、１５億３，９０７万４，０００円の不足となるが、内部留保資金である過年度分損益勘定留保資金、減債積立金等により補てんする予定となっている。 議題３ 平成３０年度野田市水道事業会計予算原案概要について、質問・意見等を伺う。 【質問・意見等無し】
-----------------	--

会長 谷田貝多吉	質問・意見等がないことから、「議題３ 平成３０年度野田市水道事業会計予算原案概要について」、原案のとおり了承。
会長 谷田貝多吉	「その他」の事項について、説明を求める。
次長 中村徳夫	水道を使用する際の手続を分かりやすくまとめた冊子「水道ご使用のしおり」の見直しを行い、４月以降、ホームページ及び水道部窓口等にて周知していくことを報告する。
会長 谷田貝多吉	その他、質問等がないことを確認し、午後２時３０分、閉会を宣言
	以上